

三井不動産株式会社と
「子育て支援を通じた、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち」
の実現に向けた連携協定を締結しました



都筑区ではこれまで、市内でも子育て世代の多い区として“子育てしやすいまちづくり”を進めてきました。このたび、三井不動産株式会社（代表取締役社長 植田俊）と都筑区は、相互に連携し、「子育て支援を通じた、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち」の実現を目的とした連携協定を締結しました。本協定に基づき、地域経済の活性化や地域のコミュニティ形成を通して、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを促進するため、様々な取組を進めます。

経緯

都筑区は、令和元年に三井不動産株式会社が運営する大型商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと横浜」の館内に地域子育て支援拠点ポポラサテライトを開所しました。ポポラサテライトでは、交流スペースの提供や子育て相談をはじめとする子育て支援に取り組んでおり、子育て講座の実施等においては、ららぽーと横浜からのご協力もいただいています。より両者の連携を深め、互いの強みを活かしたより効果的な子育て支援を進めるための協定を提案させていただき、このたび締結する運びとなりました。

連携協定の対象分野

- 1 子育て支援を通じた交流の促進、地域の賑わい創出に関する事
- 2 妊娠期から学齢期における切れ目のない子育て支援・次世代育成支援の推進に関する事
- 3 子どもの環境学習や体験を通じた脱炭素化・SDGsの推進に関する事
- 4 子育て支援に関する情報集約・発信に関する事
- 5 子育て支援の機運醸成に関する事
- 6 その他本協定の目的達成のために必要な事項に関する事

裏面あり



GREEN X EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



協定に基づく主な取組内容

◆ 子育てに関する情報発信の強化

子育て世代が集まるららぽーと横浜の強みを活かし、子育て支援に関する情報や親子が参加できるイベント等の情報をより多くの家庭に届けられるよう、ららぽーと横浜と連携して、デジタルサイネージやSNS等を活用した情報発信の強化に取り組みます。

◆ 子育て世代向けの講座・イベントの実施

ららぽーと横浜の施設を活用するほか、館内テナントと連携して「親子で楽しめる」「子育てに役立つ」といった体験ができるイベントや講座を開催し、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを促進します。



環境教育を通じたSDGsの推進や地域コミュニティと協力する等、

本協定に基づいた様々な取組での連携を通して、

「子育て支援を通じた、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち」の実現を目指します。

(参考)

3月29日(土)から、ららぽーと横浜3階に、子どもスペースを備えた

新たな図書取次所(愛称:つづきの本ばこ)を開設します!

予約した市立図書館の本の貸出と返却ができます。お買い物ついでにご利用いただけます。

市内取次初の
こどもスペース

子どもと一緒に座って
絵本を読めます。

展示・イベントスペース

「新しい本との出会い」を
楽しめる、本の企画展示
等のイベントスペース。



市内取次初の1200冊規模
書架

絵本等の子ども向けの本や、
小説やくらしに役立つ大人向け
の本を配架。本を読むだけの利
用もできます。

ポポラサテライトとも連携し、親子で一緒に、
本を楽しめるようなイベントの開催等にも取り組みます。

図書取次
サービスの
詳細はこちら



お問合せ先

都筑区子ども家庭支援課長 上田 薫子 Tel 045-948-2315



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

